

「ダニエル書補遺～ベルと竜」(旧約聖書続編) より「竜神の物語」

23~42 節【竜神の物語】

23さて、一匹の巨大な竜がいた。バビロニア人たちは、これをあがめていた。24王はダニエルに言った。「この竜が生ける神ではない、といかにお前でも言えまい。これを礼拝せよ。」25ダニエルは王に言った。「わたしは、わたしの神である主を礼拝します。その方こそ生ける神だからです。26王様、お許しをいただければ、剣も棍棒も用いずに、この竜を殺してみせましょう。」王は「許す」と言った。27そこで、ダニエルは、ピッチと油脂と毛髪とを取り、一緒に煮て、だんごを作り、竜の口に入れた。竜はそれを呑み込むやいなや体が裂けた。ダニエルは言った。「御覧ください。これが、あなたがたがあがめていたものです。」

28バビロニア人たちは、このことを聞いて非常に怒り、王に抗議するために集まって、言った。「王はユダヤ人になってしまった。ベル神を打ち壊し、竜神を殺し、その祭司たちを滅ぼした。」29そして王のもとにやって来て言った。「ダニエルを我々に渡してください。さもなければ、あなたと御家族のお命をいただきます。」30王は、彼らがあくまでも主張するのを見て、しかたなしに、ダニエルを彼らに渡した。31彼らは、ダニエルを獅子の洞窟に入れた。彼はそこに六日間入れられた。32ところで、その洞窟には七頭の獅子がおり、毎日、人間二人と二匹の羊がえさに与えられていた。しかしこの度は、ダニエルを食い尽くさせるために、何もえさを与えていなかった。

33さて、ユダヤに預言者ハバククがいた。彼はシチューを作り、パンを裂いて器に入れ、刈り入れをしている人たちに届けるため、畑に行くところだった。34そのとき、主の使いがハバククに言った。「あなたが持っているその食べ物を、バビロンの獅子の洞窟にいるダニエルのところに持って行きなさい。」35ハバククは言った。「主よ、わたしはバビロンを見たこともなく、ましてその洞窟など知りません。」36すると主の使いは、ハバククの頭のとっぺんをとらえ、髪の毛をつかむやいなや、息の一吹きで、彼をバビロンの洞窟の前に立たせた。37ハバククは大声で言った。「ダニエル、ダニエル、この食べ物を受け取りなさい。神があなたに送ってくださったのです。」38ダニエルは言った。「神よ、あなたは、わたしを思い出してくださいました。あなたを愛する者たちをお見捨てにならないのです。」39そしてダニエルは立ち上がって、それを食べた。すると神の使いはハバククを、直ちに元の場所に帰した。

40さて、七日目に、王は、ダニエルを悼むためにやって来て、洞窟の前に立ち、中をのぞき込んだ。なんと、ダニエルはそこに座っていたのである。41王は大声で叫んで言った。「ダニエルの神である主よ、あなたは偉大な方です。あなたのほかに神はいません。」42王はダニエルをそこから引き上げると、今度は彼を亡き者にしようとした者たちを洞窟に投げ入れた。彼らは王の見ている前で、瞬間に食い尽くされた。